

公益財団法人日本バレーボール協会 2022 年度臨時評議員会議事録 概要

日 時：2022 年 4 月 15 日（金）15:00～16:35

会 場：JVA 会議室を開催場所とする WEB 会議

決議事項

第 1 号議案 評議員候補者の推薦決定について

議事の経過の要領及びその結果

評議員会の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、リモート（WEB）開催方式とした。採決方法は、Zoom アプリケーション内の「挙手」機能を使用すること、個別決議となった場合は Zoom 内「投票」機能を使用することで、確認がとられ、議事開始前に川合会長より会長就任に際しての挨拶および所信表明を行った。

(1) 評議員候補者の推薦決定について

山本議長より、下記のとおり説明があり、一括決議にて賛否を諮ったところ、賛成 15 名・反対 0 名で承認可決された。

6 月 17 日の定時評議員会をもって、現評議員の任期満了となる。評議員から推薦をうけた 23 名について、本日決議承認を行い、議長を通じて評議員選定委員会へ提出される。評議員会の場で一から検討を行うとなると時間が足りないため、3 月 18 日の臨時評議員会後の懇談会で説明があった通り、山本議長、中島評議員、堀田評議員の 3 人のワーキングチームで事前にオンラインで打合せを行った。

各候補者の推薦理由について、推薦者より評議員候補者推薦書に基づき説明が行われた。

■推薦の手続きがどのように進められたかを事務局（紀伊業務推進室長）より説明

2022 年 2 月 21 日に評議員、理事宛に推薦依頼を郵送で発送。3 月 25 日締め切りで募集を行った。評議員からは 28 名の推薦書が集まった。ただし複数の推薦を受けた候補者が 5 名いたため、結果として 23 名の候補者の方が推薦を受けられたことになった。欠格事由の確認は、事務局としては推薦書の記載項目である「欠格事由欄」の「該当なし」に印がついているかどうかを確認している。確認が済んだ候補者を五十音順で一覧にしている。一覧にある年齢は選任基準日である「2022 年 6 月 30 日時点」のもの。全員 70 歳未満であることを確認済である。カテゴリーや該当する専門分野については、評議員の選定に関するガイドラインに沿って分類した。

■山本議長から、ワーキングチームの検討内容の報告（資料共有）

前回評議員会で伝えたとおり、評議員会で一から議論をすると時間を要するため、事前に検討し原案を作るワーキングチームを結成し、結果は会議前に事務局から展開した通りである。

4月12日にウェブ会議を実施した。原案は「評議員より推薦があった23名全員を「評議員推薦リスト」に記載し推薦する」が結論に至った。

- ・全員について「推薦理由」「カテゴリー」「専門性」などのチェックを行い、評議員に適格であることを確認した。
- ・「属性」はバレーボール競技専門家、スポーツ専門家・研究者、加盟団体関係者、企業マネジメント専門家、会計・法律専門家が網羅されていることを確認した。
- ・「スポーツ団体ガバナンスコード」に記載の内容と比較を行った。
- ・「評議員の選定に関するガイドライン」に記載の内容と比較を行った。
- ・評議員体制の新陳代謝の観点より、評議員在任期間の確認を行った。

全てが完全に合致しているわけではなく、都道府県カテゴリーの女性割合など若干の不足も見受けられるが、ほぼ達成している状況ということで前述の結論となった。

山本議長より「本来は1人ずつ投票であるが、今回は選定委員会への推薦であり最終的な結論でないこと、1人ずつ採決すると「評議員の選定に関するガイドライン」で目安とされている比率が崩れていくことから、原案に対する一括採決としたい」旨の提案があり、異議なしで一括決議（Zoom 挙手機能を用いる事）となった。

■その他

山本議長より、ワーキングチームで作成した原案に記載の「付帯事項」について説明があった。

- ・企業ガバナンスに明るい専門家の候補者が少なく、推薦の方法論も含めて今後検討の必要がある。
- ・新陳代謝を担保するためには、在任期間の制限など、次回選任までに基準を設ける必要がある。理事会の管轄のため、理事会に報告したい。
- ・新しい評議員メンバーには、役割（責任と権限）に関する研修会を実施し、執行機能（理事会）とチェック機能（評議員会）の適正な関係と運用が行われるよう努力する。

今後の手続きは、4月21日に選定委員会の第1回が対面で開催予定である。その後複数回の開催を経て選任される。6月17日の定時評議員会をもって、現評議員は任期満了となる。

以上で、予定していた全ての議事が終了し、議長は16:35に閉会を宣した。

以上